

サポーターズ・ニュース

令和4年度 上半期活動報告

サポーターズ・ニュース9月号でお願いした「活動報告」が届きましたので紹介します。

太田イオンチアーズクラブ

メンバー数 15名 サポーター数1名

4月24日 毎年恒例の足尾の植樹活動に参加（わたらせ渓谷鉄道にて）

5月～6月 ミニトマト、じゃがいも植え、今年はお花も植えました。
お店のまわりのゴミ拾いもしました。



7月 廃プラスチックの削減が今年のテーマです。プラスチック容器から、別の素材に変えたものなど、店内を見つけて回りました

7月27日 太田市リサイクルセンター、
清掃センターの見学

7月～9月 マイクロプラスチックって
どうできるのか、つるして観察しました。



8月12日 みなかみユネスコパークを学ぶ



8月25日 群馬県エコムーブ号で体験学習

- ① 家庭から出る水の汚れ
どうするとよいか
- ② 家から出るゴミのリサイクルについて



9月3日 おもしろ体験してみ隊（エコクラブ学習会）に参加

前橋市児童文化センター環境冒険隊

メンバー数 12名 サポーター数 2名

1 入隊式・オリエンテーション（4/23）「自然の調べ方」

金井館長からは、あいさつの中で外来種のことや生き物を飼育し始めたら死ぬまで面倒を見ることの大切さを話してくださいました。



2 「貴重な生物を守る技術を知ろう」県立勢多農林高等学校（5/21）

赤城山に自生する「サクラソウ」の保護活動を通して、絶滅危惧される動植物の保護活動を学びました。

- ① サクラソウと絶滅危惧種 ②なぜ、絶滅危惧種を守るのか ③「赤城山のサクラソウ」がなぜ絶滅危惧種になってしまったのか ④「赤城山のサクラソウ」の保護活動に係る勢多農林高校バイオ部の取り組み ⑤モウセンゴケについて ⑥サクラソウ、モウセンゴケの培養と培地の作成 ⑦神流町の伝統野菜とバイオ部の取り組み等についてプレゼンや実技を通して学ばせていただきました。



3 「覚満淵の生き物を調べよう」（6/4）

覚満淵は高層湿原で水深が深いところで約1mと浅く、冬期には完全結氷するため魚類が住むことができないそうです。そのため、プランクトンを食べる魚がいないためミジンコなどが大量に生息しているそうです。この日に見られた生物は、アカヒゲナガケンミジンコやヤマアカガエルなどでした。



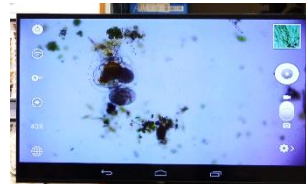
4 「春の里山の生き物を調べよう」みどり市鹿田（6/18）

オトシブミは、1cmにも満たないとても小さな甲虫です。雌は葉っぱをかみ切って丸め、その中に卵を一つずつ産み落とします。この丸められた葉は「オトシブミの揺りかご」と呼ばれています。この日もいくつも見つけることができました。



5 「水中の微生物を観察し、図を描こう」児童文化センター (7/9)

児童文化センターのビオトープにどんな微生物が見られるかパワーポイントと印刷物を使って説明してもらいました。スライドを使って、微生物の仲間分けの条件（形・色・動き・大きさ等）を考えました。ミカツキモやクンショウモ、ミジンコなどプランクトンには植物と動物がいること。ビオトープのどのあたりで採取できるか、採取方法についても話してもらいました。スライドガラスに採取した水を1滴たらしカバーガラスを被せる作業や顕微鏡のピントを合わせる作業など初めて経験する子どもが多かったようです。



6 「水生生物で山の川の水質を調べよう」赤城白川（箕輪） (7/23)

水質判定では集めた生物をいったんバットに入れた後、白い丸皿に数を数えながら分類します。その後、調査記録用紙に採取した生物の数を記録します。採取した水生生物のうち水質判定に使える指標生物の数は次のとおりでした。

カワゲラ類55匹、サワガニ7匹、ヒラタカゲロウ1匹、ヘビトンボ12匹、エラミミズ2匹となりました。指標生物以外にもたくさんの水生生物を捕まえました。これらの生物から赤城白川の水質は『水質階級Ⅰのきれいな水』ということが分かりました。



7 群馬県こどもエコクラブ学習会 国立赤城青少年交流の家 (9/3)

午前中は森林観察会「グリーンアドベンチャー」を行いました。約3kmの決められたコースを歩きながらポイントごとにある樹木を当てるクイズをしました。午後は「スーパー竹とんぼ」づくりを行い講堂で飛ばしてみました。

8 「水生生物で町の川の水質を調べよう」寺沢川（群馬リハビリパーク） (9/10)

赤城白川での水生生物と寺沢川で採集した水生生物を比較して水質の違いを比較検討しました。集めた生物をいったんバットに入れた後、白い丸皿に数を数えながら分類しました。その後、調査記録用紙に採取した生物の数を記録します。採取した水生生物のうち水質判定に使える指標生物の数は次のとおりでした。サワガニ30匹、ヤマトビゲラ類1匹、カワナナ類5匹、コオニヤンマ3匹、アメリカザリガニ2匹となりました。これらの生物から寺沢川の水質は『水質階級Ⅰのきれいな水』ということになりました。



○群馬県子どもエコクラブは各地のイベントに参加しています。

★6月4日(土)高崎市環境フェア 16クラブの新規登録がありました。



★10月2日(日)伊勢崎市花と緑と環境フェア 1クラブの新規登録がありました。



★10月30日(日)太田イオンぐんまフェア 6クラブの新規登録がありました。



「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記大募集！

全国事務局のチラシを同封します。よく読んでうえで、ふるってご参加をお願いします。
なお市町村事務局への提出〆切は1月6日(金)となっています。

全国エコ活コンクールに参加を希望するクラブは、県事務局から全国事務局に送付することになっています。

なお、全国エコ活コンクールに参加する場合は、壁新聞の返却が1年後になります。

今年度の「第27回群馬県子どもエコクラブ交流会」は1月14日(土)に前橋市児童文化センターにて開催されます。

詳細は前回お送りしましたチラシ等をご覧ください。

群馬県子どもエコクラブ事務局発行
〒371-8570

群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県環境森林部環境政策課内

Tel:027-226-2827

Fax:027-223-0154

E-mail: ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

